

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年 8 月 3 0 日掲載

1年1組 杉原麗可

先日、ピアノのコンクールがありました。私は中学生部門の自由曲の部に出場し、二曲演奏しました。

小学生の時は、曲の名前などからイメージをして、自分で物語を作って演奏していました。でも中学生になり、もっと曲のイメージをふくらませたいと思い、作曲家のことをくわしく調べたり、その時代背景、絵や建築物を調べて勉強するようになりました。

本番では、弾く前に先生から「おもいっきり楽しんできて」と言われ、「よし楽しむぞ」という心のスイッチが入りました。

一曲目の「クラント」という曲は、始まってすぐに音を外してしまい、失敗したことを少し引きずってしまいました。しかし、最後には自分の思いを込めた演奏に仕上げることができました。二曲目の「亜麻色の髪の乙女」は目線を上にして、音を上に飛ばすことを意識し、自分の音楽の世界を表現することができました。

私の先生もコンクールに出場し、演奏されました。先生の演奏はコンクールの緊張感を忘れてしまうような、聴衆を感動させる音楽でした。私も人を感動させられる音楽を創り出せるようになりたいです。